ＪＲ連合
ＮＥＷＳ

ＪＲ産業に集う
すべての仲間の
ＪＲ連合への
総結集を！！

2025 年度
Ｎｏ．４１

２０２５年１１月１８日
日本鉄道労働組合連合会

現場の声を共有し組織課題を議論

～各単組の女性役員で活発な意見交換を行う～

ＪＲ連合は、10 月 25 日、ＪＲ連合事務所において「第 20 回女性役員意見交換会」を開催した。上村良成会長、今井孝治事務局長をはじめ、５単組 11 名の女性役員が参画した。

冒頭、上村会長は挨拶で、昨年モロッコにて行われたＩＴＦ世界大会では代議員の半数が女性であったことに触れ、「鉄道産業であっても世界のほうが女性参画は進んでおり、日本社会の遅れを痛感した」と指摘。さらに「女性が働きやすい職場は誰にとっても働きやすい」と述べ、ＪＲ産業全体での環境改善を呼びかけた。

続いてＪＲ連合のトップメッセージ発信や女性役員研修会の実施、第５次男女平等参画推進目標策定などの取り組みが紹介された後、活発な意見交換が行われた。女性役員からは「役員の経験を通してネットワークが広がり、異動しても仕事がしやすくなった」「社歴が短くても相談できる人が増えた」などのポジティブな声が寄せられた。一方で“組合活動は負担が大きい”というイメージの払拭や未経験者へどう声をかけるかが共通の課題として示された。参加者からは「楽しんで活動している姿を伝える」「知り合い同士で参加しやすい仕組みをつくる」といった工夫が紹介され、事務局からは「役員マニュアルの整備やフォロー等で心理的安全性を上げ、誰でも参画しやすい環境をつくる必要がある」との認識が示された。

意見交換会は終始率直な意見が交わされ、女性役員の参画拡大に向け、課題の解消に向けた実践的なヒントが共有された。

当日の意見交換の様子

集まった各単組の女性役員のメンバー